

完了後の評価個表

整理番号	15
------	----

事業名	森林環境保全整備事業	都道府県	山口県
地域（地区）名	岩徳 <small>がんとく</small>	事業実施主体	市町、森林組合、森林所有者等
関係市町村	岩国市ほか9市町	管理主体	市町、森林組合、森林所有者等
事業実施期間	H23年度～H28年度（6年間）	完了後経過年数	5年

<p>事業の概要・目的</p>	<p>本地区は、山口県の東部に位置し、東側は広島県、北側は島根県に接し、南側は瀬戸内海に面している。</p> <p>本地区の森林面積 154,015ha（森林率 73%）のうち、計画の対象となる民有林面積は 150,305ha（森林全体の 98%）である。このうち、スギ・ヒノキを主体とする人工林の面積は 67,386ha（人工林率 45%）で、齢級構成はⅩ齢級以上が 71%と本格的な利用期を迎えている。</p> <p>一方、林業の採算性の長期低迷や林業従事者の減少等を要因として、間伐等の手入れが十分でない森林や主伐後の再造林が行われない森林の増加が懸念され、水源涵養<small>かん</small>、山地保全、地球温暖化防止などの森林の公益的機能の発揮に支障をきたす恐れがある。</p> <p>このため、森林資源を有効に利用しながら森林の有する多面的機能を高度に発揮することを目指し、岩徳地域森林環境保全整備事業計画に基づく森林整備及び路網整備を実施したものである。</p> <p>・主な事業内容</p> <p style="padding-left: 40px;">森林整備 7,020ha 人工造林、下刈り、除伐、保育間伐等</p> <p style="padding-left: 40px;">路網整備 1,760m 林道開設</p> <p>・総事業費 2,669,920 千円（税抜き 2,494,799 千円） （平成 22 年度の評価時点 2,707,212 千円）</p>
-----------------	---

<p>① 費用対効果分析の算定基礎となった要因の変化</p>	<p>令和4年度時点における費用便益分析の結果は以下のとおりである。</p> <p>なお、事前評価と完了後の評価における総便益及び総費用の差については、事業量の変動や費用便益分析で使用する単価の変動等によるものである。</p> <p>林野庁 総便益（B）45,429,364千円（平成22年度の評価時点 61,958,941千円※） 総費用（C）6,456,998千円（平成22年度の評価時点 10,560,148千円※） 分析結果（B/C）7.04（平成22年度の評価時点 5.86※）</p>
<p>② 事業効果の発現状況</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・森林整備（7,020ha）により、水源涵養、山地保全、地球温暖化防止など、森林の有する公益的機能の維持増進が図られた。また、列状間伐の実施や高性能林業機械の使用等、効率的に施業が行われた。 ・林道整備（1,760m）により、施業地へのアクセス時間の短縮や搬出コストの低減が図られた。 ・一方で、他産業と比較して厳しい労働条件を背景に林業従事者が減少している。
<p>③ 事業により整備された施設の管理状況</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・本事業で整備された森林は、森林経営計画等により継続して適正に維持管理されており、良好な状況にある。 ・本事業により開設された林道は、管理者である岩国市が適切に維持・管理をしている。
<p>④ 事業実施による環境の変化</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・森林整備の実施により良好な森林が形成され、水源涵養、山地保全、地球温暖化防止など、様々な公益的機能が発揮されている。 ・林道開設による野生動植物の生息・生育環境の悪化、渓流水の流量の減少などの影響は見受けられない。
<p>⑤ 社会経済情勢の変化</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・森林資源の充実や県産木材の需要拡大の取組により、積極的な利用間伐が実施された。 ・本地区内において木質専焼バイオマス発電所が建設されたことにより、木質チップの需要が増加している。
<p>⑥ 今後の課題等</p>	<p>森林整備を放棄した人工林の増加により、水源涵養や県土の保全、地球温暖化防止など、森林の持つ多面的機能の発揮が懸念される状況にあることから、主伐後の再造林や間伐など、森林整備の適切な実施について強力に推進する必要がある。</p> <p>特に、利用期に達したスギ・ヒノキ人工林については、森林資源の循環利用の観点から主伐・再造林を積極的に推進することにより、適正な森林整備はもとより森林所有者に利益を還元できる仕組みづくりを構築していくことが重要である。</p> <p>地元の意見： （山口県） 水源涵養や山地保全等の公益的機能の発揮の為に、引き続き森林整備事業等により森林整備及び路網整備を実施していくことが求められている。</p> <p>主伐・再造林を進めるため、再造林及び初期保育の低コスト化や伐採者と造林者が連携した再造林の普及等に取り組んでいく。</p>

評価結果	<p>必要性： 本事業は私有林の森林整備を推進する主たる事業であり、私有林の水源涵養や県土の保全、地球温暖化防止など、森林の持つ多面的機能を維持・増進するためにも必要である。</p> <p>効率性： 森林整備については、列状間伐や高性能林業機械の使用等による低コストで効率的な作業が定着しつつある。</p> <p>また、路網整備については、森林整備事業箇所へのアクセス向上が図られており、費用便益分析の結果からも効率性が認められる。</p> <p>有効性： 森林整備及び路網整備の実施により、森林の有する多面的機能が維持・増進していることから、事業の有効性が認められる。</p>
------	---

便 益 集 計 表

(森林整備事業)

事業名：森林環境保全整備事業

都道府県名：山口県

地域(地区)名：がんとく
岩徳

(単位：千円)

大 区 分	中 区 分	評 価 額	備 考
水源涵養便益	洪水防止便益	13,007,930	
	流域貯水便益	2,789,208	
	水質浄化便益	10,422,102	
山地保全便益	土砂流出防止便益	6,806,828	
環境保全便益	炭素固定便益	9,233,045	
木材生産等便益	木材生産経費縮減便益	2,278	
	木材利用増進便益	2,354	
	木材生産確保・増進便益	2,925,745	
森林整備経費縮減等便益	森林整備促進便益	239,874	
総 便 益 (B)		45,429,364	
総 費 用 (C)		6,456,998	
費用便益比	$B \div C = \frac{45,429,364}{6,456,998} = 7.04$		

森林環境保全整備事業 岩徳流域(山口県)概要図

- 事業区域
- 市町村界
- 国有林
- 民有林

